

平成21年度 学校経営計画 学校関係者評価最終集計

評価委員会アンケート

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価番号	評価指標・評価基準						学校関係者評価 記入欄 (A~Dのうち1つに○を)			ご質問・ご意見欄 特にB以下の評価となった理由もお聞かせ下さい			
					努力指標		学校自己評価	成果指標		学校自己評価							
					4	3	2	1	4	3	2	1	4		3	2	1
学力の向上	授業に対し意欲的に取り組むことができる生徒が95%以上	授業目標を達成できた実感する生徒が80%以上とする。	・教員は『授業目標の明示』と『授業の振り返り(まとめ)』を毎時間、徹底する。 ・学習リーダーの育成を工夫し、学校で統一して実施 ・生徒による授業評価の実施する。	1	4	教員のアンケートで『ねらいが達成できた』授業の割合	100%	74%	4	生徒アンケートで『授業の目標を達成できた』とする生徒の割合	90%以上	80%	A	自己評価は適当である	A	6	・学力向上へ教員の授業に対する意欲的に取り組む姿勢を高く評価する。 ・努力指標の学校自己評価が上がるよう工夫してほしい。
					3		90%以上		3		80%以上		B				
					2		80%以上		2		75%以上 80%未満		C				
					1		80%未満		1		75%未満		D				
	観点別評価Cの生徒を30%未満とする。	・「学習の手引き」を作成し、全学年で統一して実践 ・低学力対応の取り組みを工夫して実施(帯時間での実施、通常学級での支援活動の実施等)	2	4	95%以上	60%	4	通知表の達成度ABCで1つでもC評価がある生徒の割合	20%未満	39%	A	自己評価は適当である	A	5	・学力向上へ教員の授業に対する意欲的に取り組む姿勢を高く評価する。 ・短期間の目標達成は厳しいので長く生徒を見てやってほしい。 ・努力指標の学校自己評価が上がるよう工夫してほしい。 ・目標よりも指標がはるかに低い場合は、目標の立て方に問題があるか、よりきめ細かい数値の設定が必要なのは。		
				3	90%以上		3		30%未満		B						
				2	80%以上		2		40%未満		C						
				1	80%未満		1		40%以上		D						
豊かな人間性の育成	あいさつ・声かけを通して、学校全体でお互いを信頼し、尊重し合える集団づくりを目指して、学校や学級、または自分が成長していると感じる生徒が100%となる。	あいさつ、声かけの習慣がついている生徒が90%以上となる。	・あいさつ・声かけ習慣の確立 ・学活・道徳・総合的学習の時間等において、人間関係づくりの取り組みを実践。 ・生活全般において、意欲的で前向きな行動に対する肯定的評価活動を実施。(『がんばりカード』等)	3	4	教師アンケートで『自ら生徒への声かけ・挨拶』をする教員の割合	95%以上	96%	4	自らあいさつの習慣がついたという生徒の割合	90%以上	84%	A	自己評価は適当である	A	6	・生徒の人間関係づくり、自主性の育成に対する効果は顕著である。
					3		90%以上		3		80%以上		B				
					2		80%以上		2		75%以上		C				
					1		80%未満		1		75%未満		D				
	学校生活での自己有用感において生徒の80%以上が肯定的評価となる。	・学級リーダー会指導を毎週火曜日に定期的実施(課題解決を図る) ・生徒による実行委員会を中心に企画・運営していく活動を実践する。	4	4	90%以上	77%	4	生徒アンケートで『自分の行動や取り組みがクラスにとっても役立っていると感じている。』生徒の割合	90%以上	90%	A	自己評価は適当である	A	6	・生徒の人間関係づくり、自主性の育成に対する効果は顕著である。		
				3	80%以上		3		80%以上		B						
				2	75%以上		2		75%以上		C						
				1	75%未満		1		75%未満		D						
まちぐるみによる教育の推進	保護者・地域に学校の取組に対する理解を広め、学校に対する信頼度の肯定的評価を80%以上とする。	学校の教育活動の理解度に対し、保護者・地域による肯定的評価を80%以上とする。	・学校通信、学年通信、学級通信、部活通信を地域へ配布する。 ・保護者参加もしくは参観できる学年(PTC含む)・学級(PTC含む)・教科・部活等の独自の行事を実施する。(全学年の授業参観日は除く)	5	4	学校・学年・学級・部活等で通信発行を実施(HP更新含む)の状況	月2回以上	80%	4	保護者アンケートで学校の様子の理解について、肯定的評価している保護者の割合	80%以上	82%	A	自己評価は適当である	A	5	・教育活動の理解度向上、地域への関わりへの成果は着実に上がった。学内、学外への広報(情報の発信)をさらに進めること。
					3		月1回以上		3		75%以上		B				
					2		不定期		2		60%以上		C				
					1		実施なし		1		60%未満		D				
	小中連携、地域連携で昨年度より新しい企画を実施し、学区内の行事へ積極的に参加していく。	・学校・学年・学級・部活、個人で地域へのボランティア活動の機会を増やす。 ・「総合的な学習」に地域連携の取り組みを取り入れる。	6	4	90%以上	63%	4	地域にかかわる取組み・ボランティア活動に参加した生徒の割合	80%以上	60%	A	自己評価は適当である	A	6	・教育活動の理解度向上、地域への関わりへの成果は着実に上がった。学内、学外への広報(情報の発信)をさらに進めること。 ・学校は地域によく出向いていると思う。生徒は地域行事によく参加協力をしている。		
				3	80%以上		3		60%以上		B						
				2	75%以上		2		50%以上		C						
				1	75%未満		1		50%未満		D						